

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(32) 農業経営診断研修の開催

JAバンク宮崎（宮崎県）

新規	継続
	○
	（平成 19 年 4 月）

1 動機 (経緯)	昭和 44 年より平成元年までの 21 年間に農家経営指導のできる JA 職員の養成を目的に、「農家経営調査研修」の名称で延べ 145 名を受入れ、3 ヶ月をかけて金融全般、畜産簿記、営農技術、経営調査・分析手法等の指導を行ってきました。 その後、中断していましたが、昨今の農業情勢をとりまく環境激変による農家経営の悪化や、他業態による農業分野への攻勢等に対する危機感から、平成 19 年度より「農業経営診断研修」の名称で復活し、農家経営のコンサルタント能力を持った JA 職員を育成することで、組合員農家のニーズの充足、ひいては JA の融資機能強化に寄与する目的で取り組んでいます。
2 概要	マンツーマンに近い少人数で実施する 2 週間の研修では、農業の現状（県内農業の特徴と課題）、農業簿記・税務・労務、経営分析・診断理論、事例演習、経営改善計画策定等の手法を習得します。 また、自 JA から提出された経営体サンプルの経営分析・診断を行い、効果の高い研修を目指しています。 平成 27 年度までは 6 週間コースで実施していましたが、平成 28 年度から 2 週間コースとして凝縮した内容で実施しています。
3 成果 (効果)	平成 19～28 年度までの 10 ヶ年で 15 回開催し、9 JA から 27 名が受講しました。現在、受講生は経営支援部署、融資部署、営農指導部署等に在籍しており、最前線にて組合員への相談・指導業務にあたっています。
4 今後の予定 (課題)	2 週間コースの研修に加え、平成 29 年度から、集合研修コース（2 日間の研修を 4 回（計 8 日間））を実施する予定です。 集合研修コースは、本会・県中央会・県農家経営支援センターと共同で開催し、受講対象者を JA 信用部門・営農部門および県普及センターとして、農業者組合員の事業拡大、経営改善、事業再生等の支援、並びに地域の面的再生の支援を担う人材の育成を目的としております。